

強者の戦略

【近代・現代史の学習はどうでしょうか】

みなさんこんにちは、世界史の北林です。暑い毎日ですね。だんだん涼しくなってきましたが、体調管理には気をつけてください。センター試験までそろそろ100日となりました。近づいてくる本番まで計画をもって学習してくださいね。私は生姜紅茶を片手に寒さものりきっていこうと思います(小さなマイブームです)。

さてタイトルの通り、そろそろ現代史の学習にも着手していると思いますが、どうでしょうか。冷戦が終わったのが1989年。…ん？ということは、皆さんが生まれたのは1992・93年くらいですから、ベルリンの壁がこわれる映像がニュースで流れたことなども当然知りませんよね。湾岸戦争も1991年。私が学生の時代にテレビで見ていた映像はすっかり過去のものになりました。皆さんとの世代間ギャップに、時の流れを感じま
す(泣)。

話がそれてしまいましたが、そんな冷戦の時代の問題です。京都大学の2007年に非常に素直でわかりやすい問題がありますので、それで確認してみましょう。

解答・解説では冷戦時代の簡単なポイントをお教えしますね。

問題

第二次世界大戦後の世界は、アメリカ合衆国とソヴィエト社会主義共和国連邦(ソ連)がそれぞれ資本主義圏と社会主義圏の盟主として激しく対立する、いわゆる二極時代で幕が開いた。だが1950年代半ばになると二極構造に変化がきざし、1960年代に以降、その変化は本格的なものになった。1960年代に世界各地で起きた多極化の諸相を、300字以内で具体的に説明せよ。

(2007 京都大学)